

えびさん

12

立川と語ろう 立川に生きよう

December 2012

Écoutez Bien Vol.31 No.337

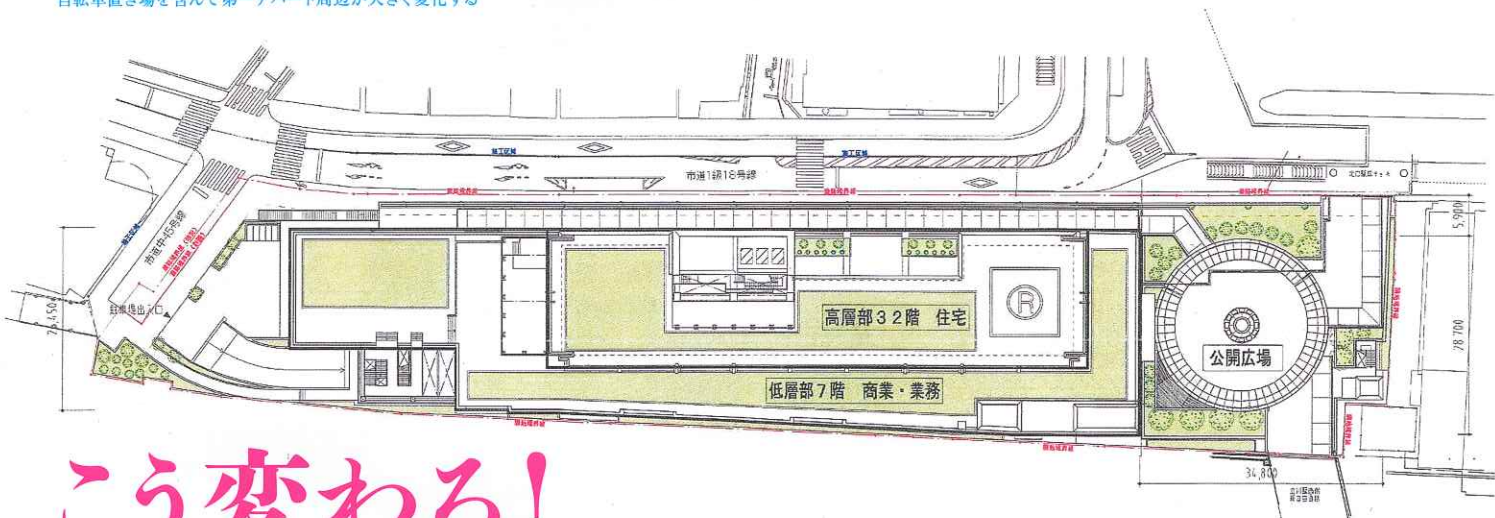


変わる立川!

いよいよ立川駅北口西地区の再開発が始まった。工期は平成28年7月末までの約4年間の予定。立川はまた新たな1歩を踏み出す。



自転車置き場を含んで第一デパート周辺が大きく変化する



こう変わる!

中央線、青梅線、南武線が乗り入れるJR立川駅。乗車人員は2011年には155,000人を越え、JR東日本エリア内の東京23区の主要駅、横浜、大宮、川崎に次ぐ巨大数字。多摩モノレールの利用客も流れて来て、駅に直結する商業施設の出入口につながる自由通路は、朝から晩までまったくいつも混み合っている。

多目的に人が集まり増え続ける立川。今回の再開発は、現在の狭隘を解消するだけでなく、なによりもまず災害に強い街づくりを基盤に、土地の合理的かつ健全な高度利用で中心市街地の活性化を図り、新たな歩行者デッキを整備することで、歩行者の安全を守りつつ従来の自由通路の混雑を緩和することができる、とされている。

街づくりは人づくりとも言える。すばらしい街づくりを目指す今、建物に見合った心づくりも期待したい。



先生はおみくじ カウンセラー

神仏のメッセージを受け取る

日本古典文学学術賞 第5回受賞者 平野多恵さん (十文字学園女子大学短期大学部准教授)
受賞対象研究業績は『明恵 和歌と仏教の相克』笠間書院。
ユニークな人柄に興味津々!

—すばらしい賞の受賞おめでとうございます。

平野 ありがとうございます。

—と言いながら、先生のご本、まだ読ませていただけていないです。

平野 あ、いいんです。ただ、あの本のあとがきを読んで頂くと、私のこれまでというのがもっとわかって頂けるかもしれません。—おもしろい経歴ですね。オウム真理教に入りそうになった経験なんて、そうないと思います。そもそもどうしてオウムに?

平野 私は日本で生まれて日本語環境の中で育って、日本の文化に親しんでいる。高校生の頃、自分の感情を持って余しているようなところがあって、自分自身のことが実は一番わかっていないんじゃないかと感じて、国文学か心理学のどちらかに進みたいと思うようになりました。結局お茶の水女子大の国文学に入るわけですが、大学の掲示板に「日本印度化計画」というサークルのポスターがあった。それがそもそもです。要は週に何回かカレーを食べながらインドについて語ろうよというサークルです。

—カレーを作って食べる?

平野 そうです。手作りのインドカレーを食べながら、自分の感じていることや東洋思想の話、ヨガの話や気功の話もしました。ヨガに興味を示すと、ヨガの合宿に誘われました。後で分かったのですが、そのサーク

ルの母体がオウムでした。いろんな修行があって、蓮華座を組んで修行をしていた時です、突然ジャンプし始めたのです。いわゆる空中浮遊ですが、それは生理的な現象で、正確には、痙攣のような形のジャンプでした。

—へええ。

平野 他にも、足を上にして固定するポーズを1時間以上続けて、前世や過去が見えたと言う人もいて(笑)。はじめての経験でジャンプしたので、才能があると言われる、もっとすごい先生がいるからそこへ行きましょと誘われました。私がラッキーだったのは、その後すぐに夏休みで、ちょうどインドへ旅行する予定があったことです。旅行の後で、そのすごい先生のところへ行く約束をしていました。でも、インドから帰って来たら、そのサークルで知り合った仲間が合宿をきっかけにオウムに入信していたのです。その後、このことが週刊誌に取り上げられて、「日本印度化計画」がオウムのダミーサークルだと知られるようになりました。

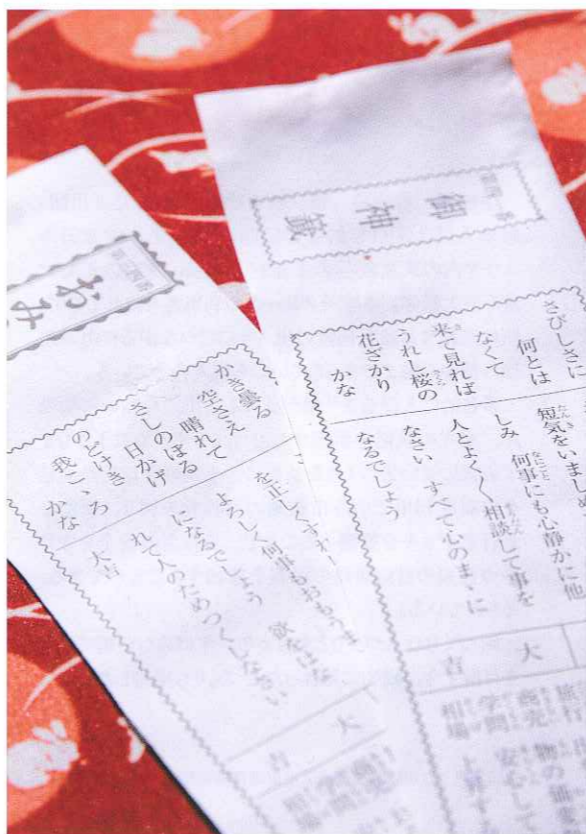
—で、先生はその後インドへ?

平野 旅行にはまってしまったん

です(笑)。オウムの人たちがサイババは偽物だと言っていたので、じゃ、本物の宗教者って何だろうと思ってサイババのところにも行きました。

—ええ?

平野 サイババのアシュラムには、難病や悩みを抱える人が世界中から集まっています。日本でもその頃サイババが流行っていて、大阪のおばちゃんたちが団体ツアーで来るほどでした。



インド、ネパール、タイ、ミャンマー、ベトナム……、とにかく仏教と関係のある国を長期休暇のたびに旅行して、最後は神戸から鑑真号で上海、西安、シルクロードでパキスタンに入りました。

—ところで、受賞対象は明恵上人についてでしたが、先生の人生のどこで明恵上人は登場するんですか?

平野 明恵はですね(笑)、卒業論文でやはり何かしら宗教に関わることをとっていたところ、短い期間に何度も「明恵」と出会った。雑誌だったりテレビの番組だったり。明恵が私を呼んでいると思いました。しかも明恵は鎌倉時代にインドへ行きたくて2度渡航計画を立てている。それも私にピッタリだし、もともと心理学に興味があったので、明恵の残した「夢記」にも強く惹きつけられました。それで卒論に明恵を選んだんですね。卒業論文ではこの「夢記」と明恵の和歌について研究したのですが、大学院入試の面接審査の際に、「夢記」のところはよくわからなかったと言われてしまいました。東大の大学院は伝統的で堅実な国文学の手法を学ぶ所ですし、そのときに「夢記」を文学として研究するのは難しいと悟りました。大学院で明恵を研究するには、和歌などからアプローチしないと認められないなど……。—「夢記」の方が本当は研究したかったんじゃないですか(笑)。

平野 はい。でも、明恵の和歌もアウトローなところがあって、そこも私の好みに合ったんです。明恵が修行の境地を和歌に詠んでいたことに興味を覚えました。いったんは研究を諦めていた「夢記」ですが、その後、「夢記」研究の大家である奥田勲先生にご指導いただく機会を得て、「夢記」を読む研究会をつくり、10年ほど前からその注釈を少しずつ進めています。

—宗教がお好きなんですね。

平野 はい、好きというか、興味があります。無宗教で育ったから興味がある。明恵は華嚴宗のお坊さんでしたが、真言密教をはじめとして、一生涯、よりよい修行法を求めて試行錯誤し続けた人です。

—今の日本では宗教の話題はタブー視されがちですね。

平野 それがいけないと思うんです。オウム

のサークルには、生きる意味や宗教について真剣に考えたいと思っている人が多くいました。今も、いろいろなことを真面目に考えている若い人がたくさんいるはずですが、今ではオウムがあったことを知らない人も増えている。危険だと思います。

私がオウムに入らなくて済んだのは、やはり少人数教育のお茶大に自分の居場所があったから。さらに研究をして原典に当たって調べることを通して、自分の頭で考える訓練ができたこと、この環境に救われたと今になって思います。何かを求めている人が心から話せる場所を大学内に作る、これも大事だと思っています。

—では、使命感を感じていらっしゃるのではないですか?

平野 それで……、じつは最近おみくじの研究をしているんです(笑)。おみくじって、運試しのような感じで適当に引く人も多いと思いますが、真面目に引き始めると結構ありがたいものです。おみくじは、神仏のお告げが何で表されているかで、大きく二種類に分けられます。お寺は基本、漢詩。神社は和歌です。この漢詩や和歌をどう読み解くかがおみくじの醍醐味です。和歌を読み解くと、そこに神様のメッセージがあり、漢詩には仏様のメッセージ。心を集中して神妙におみくじを引くと、不思議と自分の状況にふさわしい結果がでます。神社やお寺にはそれなりに磁場がありますから、ちゃんとそういう所で引くのが大事です。

—説得力ありますね。

平野 台湾に行ったことはありますか?台湾ではおみくじを引いていいかどうかを仏様にうかがいを立ててから引きます。お寺には引いたおみくじを解説してくれる人もい

ます。じつは、かつては日本にも、寺社でおみくじを引いたときに解説してくれる人がいました。自分で引くだけだと吉凶しか読まなけれど、吉凶の結果はあまり重要ではなくて、それよりも自分の人生に合わせて神仏のメッセージを受け取るの方が大事なんです。そのためには、おみくじの漢詩や和歌の意味を解きほぐす必要があります。古典文学を研究してきたことを生かして、いつか、おみくじカウンセラーになりたいと思っています(笑)。

—古い師みたいで怪しい(笑)。

平野 (笑) いいアドバイザーになるんです。前向きになるアドバイスができる占い師。悪い占い師はいたずらに恐怖心を煽りますが、そうではなくて、正しく神仏のメッセージを渡せるように。今、授業でそんなことも教えていて、学生たちもおみくじに興味を持ってくれます。



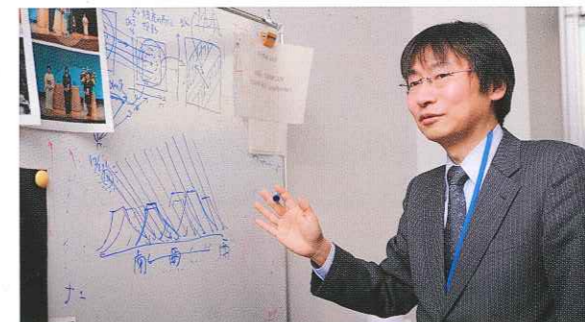
平野先生と一緒に諏訪神社と阿豆佐味天神社へ。どちらにも和歌が最初に書かれてあります。スタッフが引いたおみくじに、先生が解説を加えてくれました。先生のおっしゃる通り、心願成就を祈念したら、2枚とも同じような内容でした(笑)。

ダイヤモンド富士

頂に、燃えながら落ちて行く

ダイヤモンド富士がどこからでも見えると思っているなら、それはまちがい。
極地研究所副所長の中村卓司先生に計算してもらおうと、
その北限線が見えて来た。

冬は空気が澄んで夕焼けがとても美しい。ダイヤモンド富士を見る絶好のチャンスだ。ダイヤモンド富士は冬至を挟んで、見える場所も移動する。えくてびあんが定義するダイヤモンド富士は、富士山の頂上に太陽がまるまる落ちる様子を言う。どんなに待っても極地研からは見えないんですね？と確認すると、「まあ、1万年くらい待っててくれれば…」と中村先生。ある線以北では見えなくなるダイヤモンド富士。忙しい中村先生から、北限線の描かれた地図が届くのを待っている。



中村卓司先生
図解して説明してくれた

平成23年12月9日柴崎町2丁目から撮影

えくてびあんの輪

えくてびあんはリストのお店にあります。今月は 曙町・羽衣町・錦町 のお店です。

- 曙町
- 手打ちそば しえ もと 529-5468
 - シンボパン 522-6211
 - 天ぶら わかやま 525-0222
 - カツレツ わかやま 528-1654
 - 多摩水族館 524-0288
 - すし 魚正 522-3437
 - 園部肉店 522-2901
 - Cut Studio SOFIA 528-3241
 - 立川市女性総合センター アイム 528-6801
 - エミリー・フロゲ 高島屋立川店 526-9788
 - 立川高島屋 ギフトサロン 525-2111
 - オリオン書房 ノルテ店 522-1231
 - JTB 法人東京 西東京支店 521-6550
 - 元祖つけ麺 味幸 527-4701
 - 鉄板焼 千珠 529-6787

- 羽衣町
- 緑縁専門店 プリムベール 528-6789
 - たましん 東立川支店 524-0611
 - ギリシャレストラン SHUPOUL 519-3923
 - 林歯科医院 522-5657
 - 中島豆腐店 522-5732
 - 新鮮野菜・惣菜 立川商店 522-3565
 - 本・事務用品 泰明堂 522-3353
 - 本と文具のないとう 522-3677
 - テラー安武 522-5268
 - 赤松タバコ店 524-7852
 - まごころ銘茶 狭山園 527-0146
 - 美容室ヒロイン 紅 526-0018
 - お好み焼ともんじゃ焼 けいし 526-1267
 - 鉄板 Daining Restrant Archange 528-2904

- 錦町
- めがね・とけい・補聴器 カワハラ 525-4427
 - 鳥料理くし秀 522-7692
 - イタリア料理 トラットリア ドン シェ 512-8735
 - 御菓子司 やな瀬 522-3969
 - 宮地楽器 MUSIC JOY 立川南 526-1779
 - 中国料理 五十番 522-7472
 - 一六珈琲店 527-1680
 - 手づくりみそ材料専門店 北島こうじ店 524-3190
 - New gyoza1059 餃子天国 526-2283
 - イタリアンダイニング asa 529-5668
 - ワインバー パルアラディ 523-3917
 - H.works 521-2721
 - CAFÉ SOMMEILLER 527-1440
 - 食堂 marumi-ya 528-6226
 - 手打ち蕎麦 なかさと 524-5758
 - 中国整体院 529-1088
 - 中国菜館 多味軒 526-5925
 - 日本クッキングスクール 522-3440
 - ザ・クレストホテル立川 521-1111
 - 美容室アリス 525-1100
 - パンと洋菓子 うちのやブルマン 524-9280
 - 無門庵ギャラリー 529-2323
 - FALCO hair 528-2389
 - 諸官公庁御用達・日用雑貨 池田屋 522-3731
 - N HAIR WORLD 523-5336
 - しゃぶしゃぶ・鍋料理 しゃぶ・りん 527-2228
 - TTM(株) 524-5787
 - スペイン料理 TAPAS 529-0733
 - Bakery Café Crown 526-2226
 - 三田花店本店 524-4187
 - いわさき痛みの整骨院 529-5123

jorakugajo

真如苑提供番組 (常業我浄)

スカイパーフェクTV: 216ch
マイ・テレビ アナログ: 11ch
デジタル: 111ch

放送時間については番組表をご確認ください。

www.shinnyo-en.or.jp

おじゃまして〜す! [8]

Bar Aladi

美味しいものが食べられるワインバー

南武線からよく見えるサーモンピンクのビル。この中に6軒の飲食店が入っています。Bar Aladiもそのひとつ。静かにゆったりお酒を楽しめます。マスターひとりのお店ですが、腕がいいと言われている舌がいいと言われているか、お酒はもちろん、料理がおいしい!今回は前菜の盛り合わせに鴨のローストを。前菜はバラエティに富んだ素材と味。帆立のエスカルゴバターを最後に載せてテーブルへ。エビのマリネにハーブがこんなに合うなんて!イチジクと生ハム、美味しいじゃない!などと言う度に、カウンター越しに頷いたり笑ったりマスター。鴨のローストは肉汁と旨味を閉じ込めるのが美味しさの秘訣なのだとか。脂が出切ったところで、付け合わせのエリンギと青野菜を炒めます。エリンギに鴨の脂がしみ込んで、これがまたごちそうになるという贅沢な一品。たまにはゆっくり、いかがですか?



前菜の盛り合わせ



鴨のロースト

[9]

黒毛和牛専門 焼肉 FUKI

美味しい食材探しが上手なマスター

食材探しの名人はすごくおいしい「卵かけごはん」を提供してくれます。卵もですが、お肉です。写真はタン元。タンと言えは薄切りにしたものが一般的ですが、食感が全然違います。厚く切っても一口で食べられるのは、やはり厳選された黒毛和牛ならではの赤身が多かった筋肉は、硬くても噛んでおいしい。タンも舌先に向えば赤身が多くなって別の美味しさが生まれます。タン元の美味しさは旨味の塊の美味しさ。一頭からこれだけしか取れません。マスターも「大人の食べ物」とおっしゃいます。もう1品。モツ鍋です。春には真っ白い立川うどんを入れて「立川モツ鍋」と称します。温まりますよ〜。



立川モツ鍋



タンの極味

年末に向けて、大人がゆっくり楽しめるお店をご紹介します



立川市錦町1-5-6
サンパークビル105
TEL 042-523-3917
営業時間 18:00~2:00(L.O)
日曜定休



立川市曙町2-5-17 ITHOビル7F
TEL 042-523-0166
営業時間 17:00~23:00 (L.O 22:30)
月曜定休

街の話題

自衛消防隊訓練審査会
——立川市役所北側広場にて

秋のさわやかな天候の中、10月19日、事業所の自衛消防隊訓練審査会が行われ、男女合わせて31チームが参加しました。今年の上位3チームは、男子隊 優勝=陸上自衛隊東立川駐屯地、準優勝=真如苑男子隊B、3位=株式会社ヤクルト本社中央研究所。女子隊は、優勝=伊勢丹立川店、準優勝=真如苑女子隊、3位=セレス立川。どのチームもキビキビと動き、大きな声で火災を知らせる姿がとても頼もしい。ある企業の代表の方にお話をうかがうと、「事業所内で最も消防隊に無縁に見える人間を出しました。実際の災害時には全員がこうして動けることを目指しています」と。立川は安心ですね!



陸上自衛隊東立川駐屯地チーム



伊勢丹立川店チーム

八王子駅ビルが変わりました!

10月25日に八王子駅直結のCELEO八王子北館がグランドオープン。南口がガラッと変わり、南口駅前に、2000人を収容するホールや会議室を持つ超高層マンションが建つ八王子。経済や文化面で「多摩のナンバーワン」「多摩地域リーディングシティ」を目指して、また更なる変化を遂げようとしています。



CELEO 八王子北館内

お元気そうな三田鶴吉さんをお迎えして

快晴の9月30日、多くの人が参加して恒例のクリーン多摩川が行われました。45年前、ボーイスカウト立川第4団の子ども達が、何かずっとやり続けることのできる活動をと希望したのに対し、三田鶴吉さんが応え「クリーン多摩川実行委員会」を結成。今では参加団体が10団体に。45年前はゴミがトラック何台分もあり、川の中に捨てられた自転車やオートバイを自衛隊が引き上げたりしたそうです。

そうした歴史を経て、この度45周年を記念して至誠学園かしの木プラザホールで式典が開かれ、清水市長から実行委員長三田鶴吉さんに感謝状が、実行委員長代行 高橋利一さんより記念品が贈呈されました。



また実行委員長から感謝状を渡された団体は次の通り。宗教法人 真如苑、NPO法人東京賢治の学校、陸上自衛隊立川駐屯地、陸上自衛隊東立川駐屯地、至誠学園、日本ボーイスカウト東京連盟立川第4団、日本ボーイスカウト東京連盟立川第7団、ガールスカウト日本連盟東京都第158団、東京立川ライオンズクラブ、立川市明るい社会を作る会。「自分たちの街を流れる川をきれいにしたい」という45年前の子どもの願いは、みなさんの力で継続されてきたんですね!



撮影: 板本典泰、落田伸哉

らしい富士山になってます

立川から見える富士山が、雪をまといて本当に富士山らしくなっています。



平成24年10月24日撮影

表紙の人

鈴木英次郎さん、富善さん、鳳介くん

西砂町の鈴木農園さん。釜焼きパン工房(ゼルコバ)さんがお嬢さんご夫妻と言えはわかりやすいでしょうか?でも、今回は農園三代でのご登場ではありません。立川消防団三代です!お父さんの英次郎さんは立川消防団のOB組織「立川消防会」の会長で、息子さんの富善さんは現役消防団員、2分団の副分団長。風ちゃんも…。すっかり切り替わってます。

かたこと

◆表紙が変わりましたねと言われます。テーマは今までと同じ親子三代ですが、撮影に工夫しています。◆ダイヤモンド富士の季節です。この富士山を見られる北限線が立川市を斜めに横切っているとご存知でしたか?極地研の中村先生にはお忙しい中ご無理をお願いしています。◆先月紹介しきれなかったのですが、「パンのある風景」で『愛の妖精』食卓シーンを撮影するに当たり、神戸大学大学院、坂本千代先生にご協力くださって、当時のサラダやパンについてアドバイスをいただきました。遠方からのご協力ありがとうございました。◆遠いといえば、ニューカレドニアです。こちらもやはり掲載できず残念でした。10月後半に立川市立第四中学校との国際交流でボードゥワ中学生さんたちが来日していました。14年に渡るこの交流から、外交官になった四中卒業生や日本語教師になったボードゥワ中学卒業生がいるというのは素晴らしい!◆そしてこれもまた。10月24日に応現院で行われた「市民のための公開講座」。『立川断層の重点調査』というテーマはまさに皆さんの関心事。聴講者は予想以上に多く、熱の入った質疑応答が続きました。◆今年も残り少なくなってきました。1年間ありがとうございました。来年も引き続き立川に根を張って、えくてびあんは頑張ります!どうぞよろしくお願い申し上げます。

えくてびあん◎

12月号 第31巻 通巻337号

平成24年12月1日発行
発行 有限会社えくてびあん
〒190-0023
東京都立川市柴崎町2-1-10 高島ビル4F
TEL 042-528-0082
FAX 042-528-0065
E-mail message@tamatebakonet.jp
URL www.tamatebakonet.jp
発行人 黒須 環
企画・写真・編集 えくてびあん編集スタッフ
デザイン 池田隆男
(WATER DESIGN ASSOCIATES)
印刷 三浦印刷株式会社

無断転載を禁じます。



映画『張込み』 監督 野村芳太郎

松本清張 原作

「パンのある風景と言ったら『張込み』でしょう」と言う人がいて、確かに昔から刑事ドラマに付き物なのがあんぱんと牛乳。容疑者が現れるまで、相手から気づかれにくく、こちらからはよく見える場所です。刑事はふたりで、張り込んでいる間は食事なども適当に済ませるというイメージ。

そのイメージを再現するのに必要なあんぱんと牛乳。まずこの牛乳で困難を強いられた。昭和30年から40年にかけての牛乳といえばやはりビン。ちょっと前まで給食に出ていたのだから簡単に手に入ると思ったら、これがない。どこにも売ってない。聞けば、あの懐かしい牛乳ビンはもうとっくの昔に消えたそうだ。給食の牛乳も紙パックに変わり、あつ

たとしてもコンパクトになった180ccのビンにはプラスチックの蓋がついている。世の中はどんどん変化しているのだ。

次はあんぱん。普通のアんぱんを求めて店から店へ。「こだわりの〜」「最高級〜」「大納言入〜」などと、あんぱんもやたら美味しくなってしまうと、刑事さんが「とにかく空腹を抑えるために食べる」あんぱんなど、どこにもなかった。

それでも探しまわってイメージに近い絵を撮影。さて、当の『張込み』。映画をちゃんと観ればわかるが、刑事さんが食べるのはカレーライス。あんぱんの出ってくるシーンは1度もなかった。

えくてびあんスタッフ